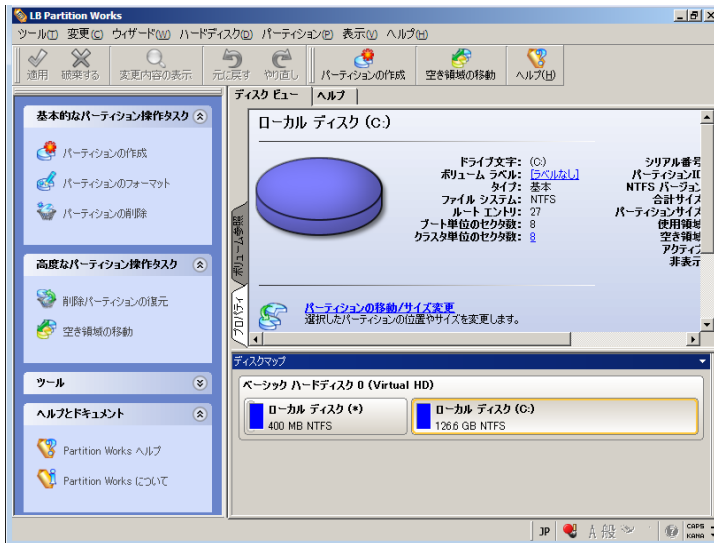


Cドライブを縮小して新パーティション作成する(マニュアル操作)

【必須】パーティション操作前にCドライブにチェックディスクを実施して結果を確認してください。

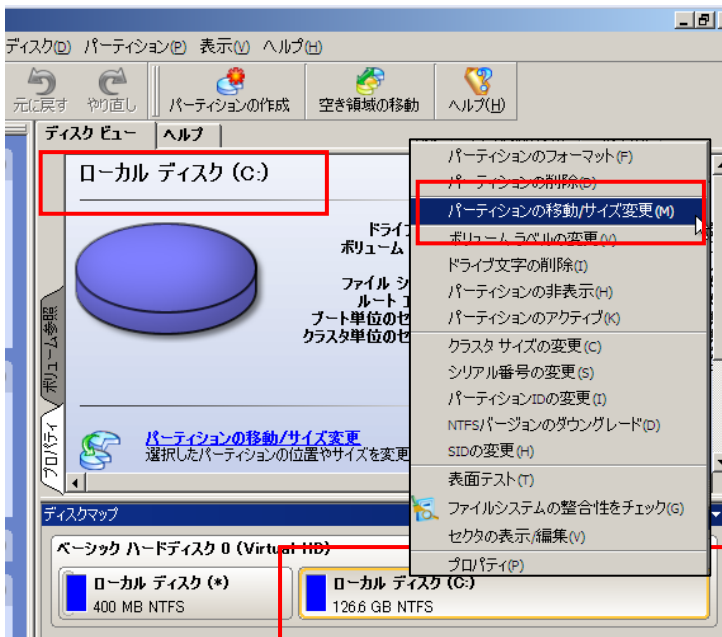
【Cドライブ縮小】

インストールしてあるパーティションワークスを起動させるか、CD 起動でパーティション操作画面に進みます。



左図例はCドライブの前は1パーティションですが、パソコンによっては更にもう1つ隠しパーティションがある場合があります。

なおCD 起動の場合、Cドライブとして表示されるドライブが変わる事がありますのでパーティションの配置とサイズで縮めたいパーティションをご確認ください。



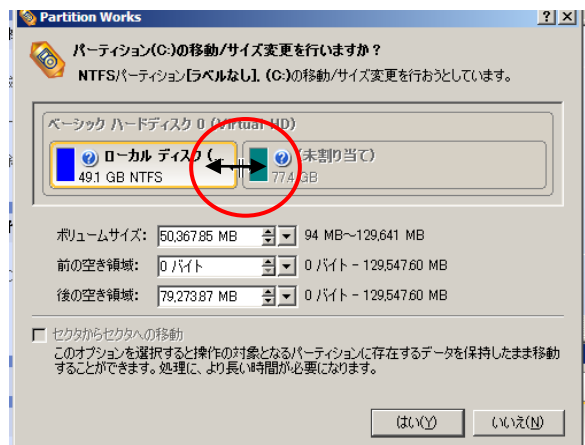
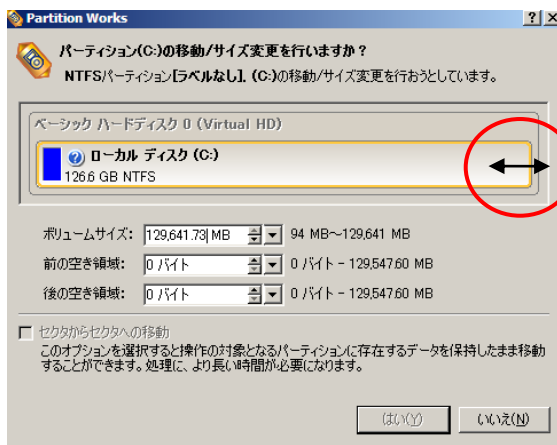
下段の「ディスクマップ」欄の縮めたいパーティション枠をクリックして指定します。

上段の「ディスクビュー」の表示は、選択したパーティションの情報を示します。

例では「ローカルディスク(C:)」となっています。

指定したパーティション上で右クリックし「パーティションの移動/サイズ変更」を指定します。

サイズ変更用画面が表示されます。中央の枠右端でマウスポインタが \longleftrightarrow となったら、マウスの左ボタンを押したままドラッグ&ドロップして枠を末尾から前方に縮めます。

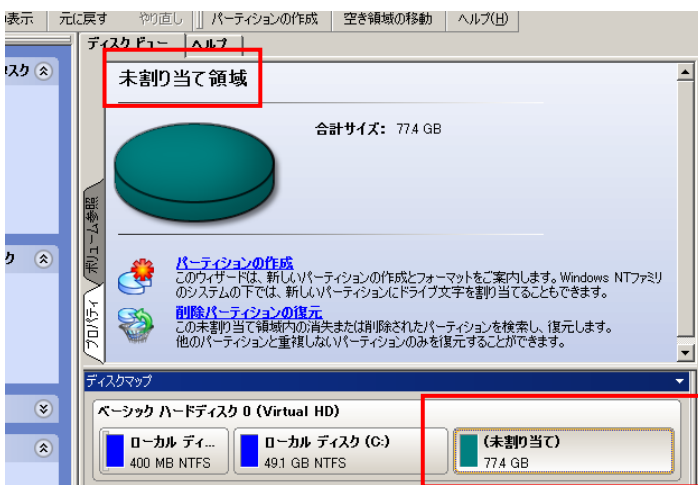


この右にできる「未割り当て」が後に新パーティションとなります。「はい」を押します。



Cドライブが縮小され「未割り当て」が出来ました。

【新パーティション作成】

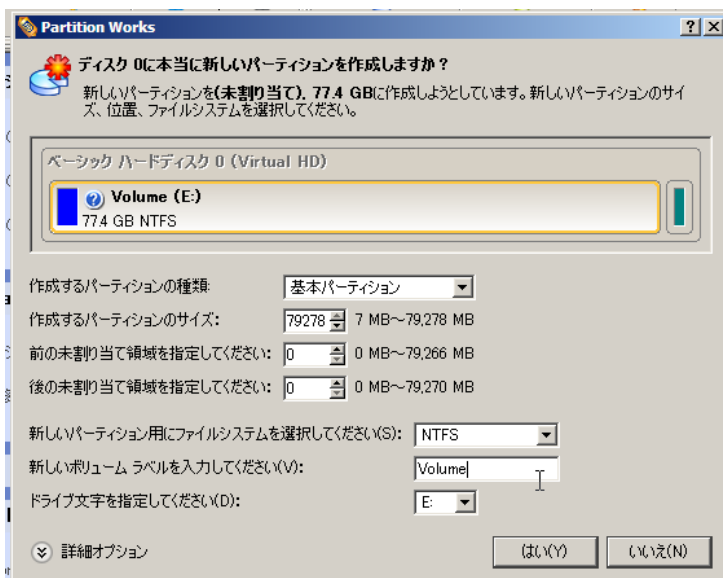


下段の「未割り当て」のパーティション枠をクリックします。

ディスクビューは「未割り当て」の表示となります。

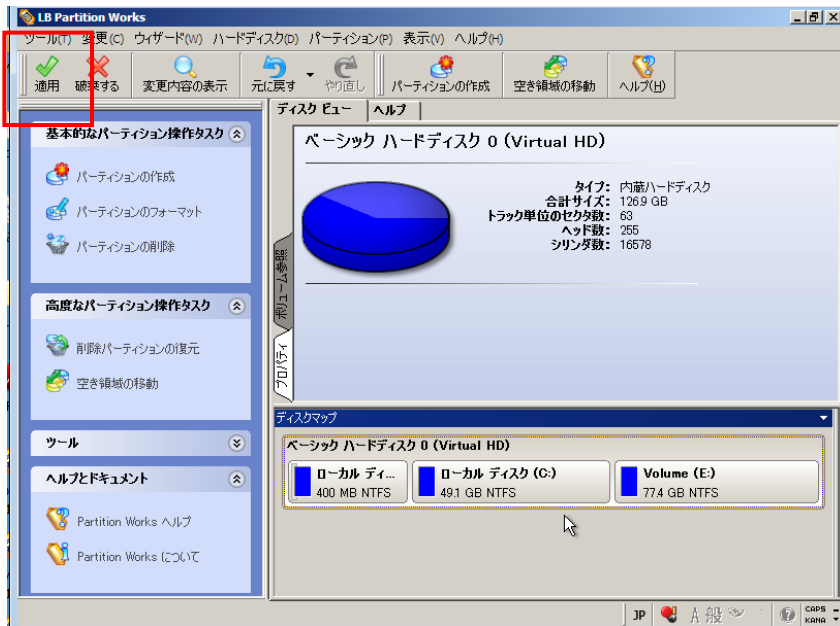


その上で右クリックして「パーティションの作成」を指定します。



作成画面が表示されますので、「基本」「NTFS」にて「ドライブ文字」を指定し、「はい」を押します。

(「ボリュームラベル」の文字の「Volume」を消して「空欄」にすると、Windows 上では「ローカルディスク」と表示されます)



ご要望の配置となりましたら、上部の「適用」ボタンを押します。

「保留中の操作」の実行を実施すると、パーティション操作が実施されます。

【注意】

処理には時間が掛かります。

パーティション操作の処理中は電源を切ったり、キャンセルしないようご注意ください。

「すべての操作が完了しました」と表示されたら、パーティションワークスを終了します。